

幼保特例講座 科目ガイド

～幼稚園教諭免許状取得科目～

2026



東北福祉大学 通信教育部

【お問い合わせ先】

〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26

電話 022-292-8011【水曜日電話対応休止】 FAX022-292-8012

<https://www.tfu.ac.jp/tushin> E-Mail yh@tfu.ac.jp

2026年3月 第1版 (TG)

《はじめに》

本特例講座は、認定こども園法改正にともなう「幼保連携型認定こども園」の創設にともない、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許状・資格を有していることが必要な「保育教諭」の必要性が高まっていることを受け、保育士資格のみを所持している方が幼稚園教諭免許状を取得するために開設されたものです。

皆様がこれから保育教諭として勤務される場合に知識を得ておく必要がある、幼児教育の方法や教育に関する法制度などを中心に学習していただき、幼稚園教諭免許状を取得するだけでなく、今後のお仕事に役立てていただければと思います。

通信教育においては、指定された教科書を読み進めることが「授業」に相当します。まずは教科書を読み、必要な知識を身に付けていきましょう。そのうえで、科目内容の理解度を確認するために、**レポート課題**に解答してみてください。レポートの解答にあたっては、教科書の関連する部分の他、参考図書などを読むとさらに知見が広がるでしょう。

科目修了試験では、論述式の問題に 45 分間で解答が必要です。レポート学習で得られた知識を自分の言葉で表現できることが望ましいものです。

単位修得までの学習活動を通じて、「保育教諭」として必要な知識・技術を身に付けていただき、皆様が今後さらに保育・教育の分野でご活躍されることを願っております。

《目次》

はじめに	p. 1
目次	
レポート解答上の留意点	p. 2
レポートに取り組むにあたって	
教員への質問方法	
レポート解答	
成績登録	p. 3
科目修了試験受験上の留意点	p. 4
科目修了試験受験にあたって	
科目修了試験申込方法	
受験上の留意事項および試験結果の通知	
Web 科目修了試験	
その他	p. 4
各科目の授業内容について	p. 5
「教職論（特例）」	p. 6
「教育社会学（特例）」	p. 8
「初等教育課程の意義と編成」	p. 10
「教育方法論（保育内容研究を含む）」	p. 12
「幼児理解と保育相談」	p. 14

●**特例制度の概要** 文部科学省の HP 「幼稚園教諭の普通免許状に係る所要資格の期限付き特例」および「東北福祉大学 通信教育部 学生募集要項 2026」参照。

《レポート解答上の留意点》

レポートに取り組むにあたって

本特例講座のレポートは客観式レポートです。科目ごとの【レポートに取り組むにあたってのアドバイス】を参考にして、教科書や参考図書をもとに、レポート課題に解答しましょう。

また、『幼稚園教育要領-平成 29 年告示』（「教育方法論（保育内容研究を含む）」の教科書として配本）や『幼稚園教育要領解説-平成 29 年』（両方とも文部科学省のホームページから閲覧可能）は、幼児教育を理解するうえで大変参考になります。

教員への質問方法

『学習の手引き 2026』4 章 1 節 X-1 「担当教員への質問」参照（郵送 or メール）

レポート解答

①解答方法

- ・『学習の手引き』を参照する際は、「客観式レポート」を「レポート課題」と読みかえてください。
- ・『学習の手引き』5 章 1 節 II-2 「初期設定」を参照し、「TFU オンデマンド」にログインしてユーザ設定を行ってください。
- ・『学習の手引き』5 章 1 節 III 「使用方法」に記載のとおり、「TFU オンデマンド・サポートページ」を参照し、「セミナー」画面から各科目のレポート課題を選択し、解答後に自動採点してください。
- ・全問解答・採点後は、「問題別詳細」タブから「解説」を読んで必ず復習に努めてください。

②解答上の注意点

- ・各レポートの問・課題ごとに、小問は順番がランダムに出題されます。
- ・問 1 または課題 1 から始めてください。各問ごとに 8 割以上の正答をしないと、次の問に進めません。
- ・解答は何度でもチャレンジ可能です。全問正解を目指して復習してください。
- ・「2 つの試験は同時に受験できません」のエラー表示が出た場合は、複数のブラウザでログインしている場合や、シングルクリックすべきところをダブルクリックしている場合などがあります。一旦ログアウトしてすべてのブラウザを閉じた後、再度 1 つのブラウザでログインし直してください。
- ・Web 解答中、何もしないまま 60 分以上経過すると画面が途切れてしまいます。各問の解答中に中断する場合は、必ず右下「一時保留」ボタンを押してください。

成績登録

- すべての問に合格した科目のレポートについては、大学メールアドレスへ「合格のお知らせ」が自動配信されます。
- すべての問に合格した後、「Web 客観式レポート評価登録期間」（『試験・スクーリング情報ブック』1部 カレンダー参照）に「履修状況票」に評価登録されます（8割以上正答なので必ず「優」評価になります）。

例）レポート課題に 4/ 1～4/16 に解答→4/17～19 に評価登録されます。

レポート課題に 4/17～5/10 に解答→5/11～13 に評価登録されます。

レポート課題に 5/11～5/27 に解答→5/28～30 に評価登録されます。

- 一度登録されると、それ以降の科目修了試験はいつでも申込みをすれば受験許可になります。
- 一部の問題のみ合格した科目については、科目修了試験の受験許可の対象にはなりません。科目修了試験を受験する場合は、必ず受験する科目のすべての問に合格するようにしてください。

《科目修了試験受験上の留意点》

科目修了試験受験にあたって

本特例講座の科目修了試験は、原則として論述式課題です。科目ごとの【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】を参考にして、レポート課題や教科書をもとに、科目修了試験の受験対策をしましょう。

科目修了試験申込方法

科目修了試験申込締切日までに、受験を希望する科目について、下記①②の両方が必要です。

①「ポータルサイト」上での受験申込み

②「TFU オンデマンド」上でのレポート解答・合格

※「ポータルサイト」と「TFU オンデマンド」は、それぞれ異なる Web システムです。

※レポートは、申込締切日までにその科目のすべての間に合格していることが必要です。

※Web 科目修了試験の申込方法は、『With』でご案内します。

受験上の留意事項および試験結果の通知

『学習の手引き 2026』4章2節Ⅲ・Ⅴを参照してください。なお、「出題内容」および教科書の持込みの可・不可については、幼保特例講座受講者は科目ごとの【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】を参照してください。

科目修了試験 申込締切日・実施日時

『試験・スクーリング 情報ブック』2部を参照してください。

日程や会場の追加・変更などは、『With』でご案内いたしますので、ご確認ください。

Web 科目修了試験（希望者のみ）

「幼児理解と保育相談」は、希望により会場の科目修了試験に代えて、Web 科目修了試験を受験することもできます。

《その他》

- ・『学習の手引き 2026』3章7節には、幼保特例講座を受講する方向けの非常に重要な内容が掲載されています。必ずご一読をお願いいたします。お手元に無い方はお申し出ください。
- ・幼保特例講座を正科生として受講する方は、『学習の手引き 2026』3章7節の内容が「科目等履修生」の方のみに当てはまる記述もありますので、ご注意ください。
- ・本特例制度は2030年3月まで延長となりましたが、幼保連携型認定こども園の保育教諭のうち、主幹保育教諭と指導保育教諭については、2年間の経過措置後の2026年度末（2027年3月）までに両免許・資格を取得することが必要となりましたので、ご注意ください。
- ・ご不明な点は、ご遠慮なく通信教育部あてにお問い合わせください。

《 p.6～15 各科目の授業内容について 》

【科目の内容（学習のねらい）】

その科目について学ぶ内容や、とくに重点をおいて学習に取り組んでほしいことが記載されています。学習の前に一読してください。

【到達目標】

その科目の学習を通して、最終的に達成されるべき目標となります。目標を意識して学習に取り組みましょう。

【教科書】

各科目に 1～2 冊配本されます。繰り返しになりますが、通信教育部においては「授業」の代わりになる大切なものです。レポート課題や科目修了試験に取り組む際に活用しましょう。

【レポート課題】

レポート課題はすべて客観式レポートです。「TFU オンデマンド」にログインし、Web 上で解答してください。

※レポート課題は各科目で学ぶべきポイントが出題されていますので、真摯に取り組んでください。

【レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス】

科目ごとに教科書の参照する章や具体的なアドバイスが記載されています。レポート課題に取り組む際に参照してください。

【科目修了試験の実施方法】

科目修了試験の実施方法（出題形式や教科書持込みの可・不可など）が記載されています。

教科書が持込可であっても、1 科目 45 分間の受験時間の中で解答するためには、事前に教科書のどこにどんな内容が掲載されているか把握しておくなどの事前準備が必要です。また、教科書が持込可の場合でも、教科書の表現を丸写しして解答しても合格点は得られません。何の準備もなく試験にのぞむことは避けるようにしましょう。

【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】

科目によって出題範囲が異なります。しっかり確認し、科目修了試験受験の準備をする際に役立てください。

【参考図書】

科目によって指定されている場合もあります。学習にあたって、参考にしてください。

なお、すべての科目において、平成 29 年度告示の『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『保育所保育指針』も参考に学習を進めてください。

教職論（特例）			科目コード	HK2805
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	石原 直・鈴木 敦子	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

- ・教職とは、教師のもっている教育力、人間力、すなわち総合的人間力について深く考え、学び、子どものためにその力を実践に活かし、子どもの学ぶ意欲、学び方、学ぶ力、自己実現をかなえるための責任、そして、役割を果たすことです。
- ・子どものもつ力、体験、経験を見つめ、一人ひとりの可能性やよさを可能な限り引き出すことが求められています。そのために、教師のもつ専門性を常に高め、実践的指導力を活かすための学びを計画的、継続的に学ぶことが必要です。また、幼稚園教諭の免許状取得には、法令関係の学びも必要となります。

■到達目標

- 1) 教育の考え方を理解し、基本的な内容を説明することができる。
- 2) 幼児期の子どもの発達について、子ども理解を適切に行い、その特徴や子ども一人ひとりのよさをとらえ、具体的に述べるができる。
- 3) 幼稚園、保育園の役割を理解し、どのような考え方で、どのように指導するのかを例示して述べるができる。
- 4) 今、教師に求められる資質能力を具体的に説明することができる。
- 5) 幼稚園教諭として、必要な教育関係法規について理解し、基本的な内容を説明することができる。

■教科書（テキスト）

- 1) 小池俊夫・長野雅弘編著『次代を創る教師論』学文社、2018年
- 2) 教育フロンティア研究会編『ポケット教育小六法 2026』晃洋書房、2025年

■参考図書

- ・文部科学省『幼稚園教育要領-平成29年告示』フレーベル館、2017年（「教育基本法、学校教育法（抄）、学校教育法施行規則（抄）」を含む）。文部科学省ホームページでも閲覧可能）
- ・文部科学省『幼稚園教育要領解説-平成30年3月』フレーベル館、2018年（平成29年告示の「幼稚園教育要領」の解説書、文部科学省ホームページから閲覧可能）

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし Web 上で解答してください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

- ・教職論は、教師の資質能力向上のための学習になります。したがって、幼稚園教諭として身に付けなければならない基本的な内容についての深い理解が必要です。
- ・テキストでは、幼稚園・小学校・中学校教諭が基本的に学習する必要のある内容が述べられています。
- ・1単位目課題は、幼稚園教諭として必要な考え方、指導内容、指導方法等の資質能力とは何かについて学習します。テキスト1)の第1章=何のための教師、第2章=子どもと関わり、交わる教師、第6章=学級(クラス)を創り育てる教師、第7章=心のたくましい教師、特別なニーズに応える教師の内容が中心となります。
- ・2単位目課題は、テキスト2)『ポケット教育小六法』の「日本国憲法」、「教育基本法」、「学校教育法；第三章幼稚園」「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律；第三章第九条」及び「幼稚園教育要領」第1章総則並びにテキスト1)の第5章=カリキュラム授業を創る教師、第8章=国や社会が求める教師、第9章=学びの専門家としての教師の内容が中心となります。その他の項目もよく読んでおくことが望まれます。
- ・課題の解答は、「幼稚園教育要領」及びテキストに記載されている言葉のみを正解と致します。「幼稚園教育要領」及びテキストを熟読してください。

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

- ・論述式で、2問から1問選択。教科書持込み可。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

- ・科目修了試験を受ける際は、レポート課題の内容を十分に復習し、幼稚園教育要領及びテキスト1)並びにテキスト2)の内容を理解して臨みましょう。
- ・科目修了試験は、下記の9問の中から2問が出題されます。
 - ①幼稚園児にとっての遊びの重要性について、あなたの考えを具体的な例を挙げて述べなさい。
 - ②幼稚園教諭の資質能力とそれを高めるための研修のあり方について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
 - ③幼稚園教諭として、地域や保護者との連携、協力をどのように進めていけばよいかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。
 - ④幼稚園と小学校の連携のあり方について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
 - ⑤保育の基本である環境による教育について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
 - ⑥健康な心と体を育てる教育について、あなたの考えを具体的な手立てとともに述べなさい。
 - ⑦自立心を育て、人と関わる力を養う教育について、あなたの考えを具体的な手立てとともに述べなさい。
 - ⑧言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養うための具体的な手立てについて、あなたの考えを述べなさい。
 - ⑨「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮しながら指導をどのように進めていけばよいかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。

教育社会学（特例）			科目コード	HK2806
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	似内 寛	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

公教育が社会的諸条件のなかで成立しているという視点から、我が国の教育制度の構造と特質を把握し、教育に関する社会的、制度的または経営的事項について考察します。具体的には、日本国憲法や教育基本法に則った教育制度の基本的枠組み、学校経営と学級経営、国と地方の教育行政の制度、社会の変化と教育、学校と地域の連携、学校安全等について幅広く学習します。

■到達目標

- 1) 日本国憲法や教育基本法をはじめとする教育関係諸法令にのっとり、我が国の学校教育制度が確立されていることが説明できる。
- 2) 学校運営・学級運営に関する基本的な知識について説明できる。
- 3) 臨時教育審議会から現在に至るまでの学校教育の変化と、近年の多様な学校の役割等を説明できる。
- 4) 学校と地域の連携について説明できる。
- 5) 学校安全への対応の概要について説明できる。

■教科書

藤田 祐介『学校の制度と経営』ミネルヴァ書房 2021年

■参考図書

- 1) 村上 祐介、橋野 晶寛『教育政策・行政の考え方』有斐閣 2020年（教育行政についてさらに学びたい方向け）
- 2) 内閣府・文部科学省・厚生労働省著『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>』フレーベル館、2017年（内閣府のホームページでも閲覧可）（認定こども園に保育教諭として勤務するにあたり、理解しておくべき内容が記載されています。ぜひ参考にしてみてください。）

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし Web 上で解答ください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

今日の公教育は、社会システムの一環として組織されており、教育職員には、どのような立場、理念で、どのような役割や期待を背負って、どのようなカリキュラムを、どのような方法で教育す

るのかについての理解が求められることとなります。このような観点から、教育の法的・制度的構造の把握、そして学校運営に関する経営的仕組みの把握などにかかわる内容を主としてとりあげています。まずテキストを一通り読んでから取り組んでください。

1 単位目も 2 単位目も選択肢の中から、正しいものを選ぶ問題です。選択肢が文章の形式をとっているため、「文章の一部は正しいが、別の部分は正しくない」といった場合は「正しいもの」とはなりません。ある程度常識で判断できる選択肢も多いですが、**まずは教科書の内容を確認し**、特に自分のもっている「常識」と異なる内容を見つけた場合は、教科書に付箋を貼ってマーカーを引くなど注意をしてください。

- 1 単位目：教科書の参考箇所は、第 5、6、7、8、11、12 章と巻末の付録の日本国憲法（98、94、41、26、14 条）、教育基本法（3、4、5、6、8、9、10、11、13、14、15、16、17 条）、学校教育法（1、2、3、5、11、16、17、19、22、23、24、25、27、37、37、38、49、76、80 条）、学校教育法施行規則（48、49 条）、教育公務員特例法（2 条）、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地方教育行政法／地教行法）（1、13、14、21、22、27、37、38、42 条）
- 2 単位目：教科書の参照箇所は、第 4、5、6、7、8、11、12 章と付録の教育基本法（1、2、4、5、6、6、9、10、11、13、14、16 条）、学校教育法（1、5、11、22、23、24、25、27、28、37、42、43 条）、学校教育法施行規則（49、66 条）、教育公務員特例法（2 条、21 条）、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地方教育行政法／地教行法）（22、47 条）、学校保健安全法（1、27、29 条）

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

論述式 2 問出題。教科書のみ持ち込み可。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

教科書の内容の理解度を問う問題です。特に 5、6、7、8、11、12 章に関する内容を理解しているか、またその概要を自分で説明できるかが試されます。またそれぞれ章の内容で、他の章と関連している部分にも注意して復習し、試験に臨んでください。

初等教育課程の意義と編成			科目コード	HK2807
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	R（講義）	1年以上	鈴木 美佐緒・鈴木 敦子	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

教育課程とは、児童生徒の学習活動をふまえて教育内容を体系立てて配列し、それによって学校教育の全体を表したものであるといえます。

文部科学省は、平成 29 年告示の『幼稚園教育要領』において、幼稚園における教育課程について「各幼稚園においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令ならびにこの幼稚園教育要領の示す所に従い、創意工夫を生かし、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成するものとする（幼稚園教育要領 第 1 章 総則 第 3 教育課程の編成と編成）」と記しております。

本科目では、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校も含めた教育課程の意義や編成について、学校教育における教育課程の持つ今日的意味を考えつつ、教育課程が公教育の歴史の中でどのように形成されてきたのか理解しながら具体的に学んでいきます。

幼稚園の教育課程においては、幼児をとりまく生活内容等を理解することで教育課程を編成するという視点にたち、幼児の教育課程の意義および編成を考えるための基本を取り上げていきます。

■到達目標

- 1) 初等教育課程の意義と編成について関係法令や必要な単語を説明できる。
- 2) 幼児の教育課程の意義と編成の基本の歴史的背景について解説できる。
- 3) 教育課程を支える思想とその展開を系統立てて理解し代表的な学説について説明できる。
- 4) 教育課程編成について小学校を中心に具体的な編成原理を解説できる。
- 5) 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園について具体的な編成原理を解説できる。

■教科書

戸田雅美・西本望 編『教育課程・保育計画総論』建帛社、2023 年

<重要：レポート課題および科目修了試験の出題範囲について>

本科目のレポート及び科目修了試験は以下の範囲から出題されます。

- レポート：「I 理論編」（最初から p. 92 まで）
- 科目修了試験：「I 理論編」「II 実際編」（教科書の内容全て）

■参考図書

- 1) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編-平成 29 年 7』東洋館出版社、2018 年（文部科学省ホームページでも閲覧可能）
- 2) 文部科学省『幼稚園教育要領-平成 29 年告示』フレーベル館、2017 年（「教育方法論（保育内容研究を含む）」履修者には教科書として配本・文部科学省ホームページでも閲覧可能）
- 3) 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成 29 年告示>』フレーベル館、2017 年（内閣府ホームページでも閲覧可能）

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし Web 上で解答してください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園および小学校の教育課程の編成と意義に関して、すべて教科書から出題されています。そのため、教科書をよく学習して理解することが必要です。また、人名や単語もすべて教科書に記載されている表記で解答してください。

本科目については、担当教員によるアドバイス動画を「TFU オンデマンド」上で視聴することができます。

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

論述式・2問から 1問選択（選択問題のため、2問とも解答した場合には不可）・**教科書持込必須**

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

指定教科書の内容が出題されています。文中のキーワードとなる言葉や事項を必ず復習しておきましょう。留意事項は次の通りです。

- (1) 教科書においてキーワードや事項の扱われ方は1～数頁と長さは様々です。また、違う章や他の頁にも出ている場合もありますのでよくさがしてまとめておきましょう。
- (2) キーワードや事項について、自分の考えのみを書く問題は出題されません。教科書に書かれている内容について出題されます（注1）。問題に出てくるキーワードとなる言葉や事項を探すためには、教科書の目次や索引など利用することも有効な手段です。

解答にあたって、自身の実務経験と関係させて記述を求める場合もあります。各自まとめておくと良いでしょう。

採点基準は、記述の内容および解答の字数です。教科書の表現を丸写ししただけでは合格点となりません。なるべく自分の言葉で解答するようにしてください。字数（解答の長さ）は重視しますので、できるだけ詳しく、解答用紙の1面を埋められるくらい記述できるように準備をしましょう。

（注1）

教科書の内容にもとづく説明と、自身の実務経験にもとづく考えの両方の記述を求める問題に対し、自身の考えのみを記述している答案が多く見受けられます。一方で、教科書の内容にもとづく説明のみを書いている解答もあります。どちらの解答スタイルでも合格にはなりません。問いで求められている内容について適切に解答するようにしましょう。

本科目については、担当教員によるアドバイス動画を「TFU オンデマンド」上で視聴することができます。

教育方法論（保育内容研究を含む）			科目コード	HK2808
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	山下 祐一郎・山本 美貴子	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

幼稚園教諭免許状取得特例の科目です。「保育内容の指導法」・「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）」に該当します。幼稚園教諭は、幼児の自発的な活動としての「遊び」が重要であることを考慮し、遊びを通した総合的な指導を組織的・計画的におこないます。小学校教育へのつながりを見通した幼児教育の実施も求められています。

この科目では、受講者が①幼稚園教育要領における「遊び」や「遊戯」を通した総合的な指導法について述べられ、②関連して、幼児期にふさわしい教育の方法、保育形態、環境の構成、保育における評価、小学校との連携・接続における遊びなどについて説明できるようになることを学習のねらいとします。

■到達目標

- 1) 幼児期の自発的な活動としての遊びについて述べられる。
- 2) 遊びを通した総合的な指導法について述べられる。
- 3) 幼児期にふさわしい教育の方法、意図的・計画的な保育実践、保育形態、環境の構成、保育における評価について説明できる。
- 4) 幼児期の遊びと小学校の遊びの違い、生活科での遊びについての知識を得る。

■教科書

- 1) 小田豊・青井倫子編・著『新保育ライブラリ 保育の方法・内容を知る 幼児教育の方法』北大路書房、2009年
- 2) 文部科学省『幼稚園教育要領-平成29年告示』フレーベル館、2017年（配本しますが、文部科学省ホームページでも閲覧可能）

※ 本科目の教科書1)『新保育ライブラリ 保育の方法・内容を知る 幼児教育の方法』の内容は、<平成20年告示>の幼稚園教育要領に対応しています。レポート課題や科目修了試験問題は基本的に教科書1)の内容から出題されていますが、「幼稚園教育要領」に関連する問題は、<平成29年告示>の新しいものを参照して解答してください。

■参考図書

- ・文部科学省『幼稚園教育要領解説-平成30年3月』フレーベル館、2018年（平成29年告示の「幼稚園教育要領」の解説書、文部科学省ホームページから閲覧可能）
- ・幼児教育とメディアについて
戸江茂博監修『幼児教育方法論』学文社、2019年

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし Web 上で解答してください。

レポート課題は、幼児期の遊びとは何か、遊びを通した指導方法とはどのようなものか、幼児期にふさわしい教育の方法、意図的・計画的な保育実践、保育形態、環境の構成、幼児期の遊びと小学校での遊びの違い、生活科での遊びなどから出題します。評価出題形式は、穴埋め、文の正誤を判断する○・×記入式や正しい文言や文の組み合わせを選択するといった選択方式を用います。

基本的には教科書から出題しますが、情報機器に関する設問については、参考図書（参考図書欄の「情報機器について」の項目に示しています）をお使いになると回答可能な内容を出題します。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

- ・出題範囲は教科書1の第1章、第2章（1節・2節）、第3章、第4章（1節）、第5章、第6章および教科書2です。また、教科書1の第2章・第4章については、指定した節を出題範囲とします。
- ・幼児教育とメディアについては、子どもとメディアに関する話題を扱ったニュースや保育なさっている中での実感でも回答可能かもしれませんが、幼児教育とメディアに関する参考図書の第11章をご覧くださいと、より回答なさりやすくなります。
- ・このレポートでの学習が、科目修了試験につながります。
- ・幼稚園教育要領および幼稚園教育要領解説についても、関係箇所を読みましょう。

■レポート評価の基準

遊びを通した指導方法とはどのようなものか、幼児期にふさわしい教育の方法、意図的・計画的な保育実践、保育形態、環境の構成、幼児期の遊びと小学校での遊び、生活科での遊びについて、教科書に沿った回答がなされていることとします。

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

- ・論述式です。2問中1問選択して解答します。
- ・教科書等の試験会場への持込みは不可とします。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

- ・レポート課題で受講者が学習したことから出題します。レポートの出題範囲で扱われる内容を理解しておきましょう。
- ・幼児期の遊びおよび遊びを通した総合的指導についてはあなたの考えを含めて述べられるようにしておきましょう。
- ・幼児期の遊びについて、計画・実践・評価を説明できるようにしておきましょう。
- ・平成29年告示の新しい『幼稚園教育要領』および『幼稚園教育要領解説』についても、関係箇所を読みましょう。

■科目修了試験の評価の基準

- ・幼児期の自発的な活動としての遊びについて述べられる。
- ・遊びを通した総合的な指導法について述べられる。
- ・幼児期にふさわしい教育の方法、意図的・計画的な保育実践、保育形態、環境の構成、保育における評価について説明できる。

幼児理解と保育相談			科目コード	HK2809
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	R (講義)	1年以上	大関 信隆	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

幼稚園や保育所における保育とは、幼児が教員・保育士などの大人や他の幼児と共に集団生活を営み、その経験を通して多様な刺激を受け、一人ひとりの幼児の発達を促進させる手助けをする行為です。そのためには、

- (1) 幼児の発達とはそもそも何を指しているのか、
- (2) その発達にはどのような特徴があるのか、
- (3) 発達の様相はどのような視点から捉えることができるのか、
- (4) 一般的な発達観を土台として実際に目の前にいる幼児の発達をはたしてどうなっているのか、といったことを理解している必要があります。

平成30年度より新しい幼稚園教育要領、保育園保育指針が施行されました。そこでは10項目の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されました。以下にそれらを列挙しますと「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」、となります。これらは幼稚園や保育所での活動を通して身につけて欲しい資質や能力です。この10項目の側面をはぐくむためには、幼児の特性理解や関わり方への工夫に立脚した保育活動が必要になりますが、それらを支える知識の一つとして、子どもの発達や心の健康に関する事柄など、心理学からの知見が役に立ちます。

本講義では、まず10項目の視点を幼児の発達の特性や環境との関わりから学習していきます。そして、子どもや保護者との関わりの基本となる姿勢を、臨床心理学的知見から学びます。

■到達目標

- 1) 幼児の発達の様相を正しく捉えることができる。
- 2) 発達を促進するために、保育環境を適切に調整してゆくことができる。
- 3) 幼児の発達の様相や保育活動を、資料として適切にまとめ上げることができる。
- 4) 家族や他の専門家との円滑なやり取りを通じて、保育をより良いものにすることができる。

■教科書

滝口俊子・井上宏子・井口眞美編著『保育と心理臨床をつなぐ 保育者・心理職・保護者の協働をめざして』ミネルヴァ書房、2018年

■参考図書

・文部科学省『幼稚園教育要領解説-平成30年3月』フレーベル館、2018年（平成29年告示の「幼稚園教育要領」の解説書、文部科学省ホームページ〔下記URL〕から閲覧可能）

http://www.next.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/04/24/1384661_3_2.pdf

- ・厚生労働省『保育所保育指針解説-平成 30 年 3 月』フレーベル館、2018 年（平成 29 年告示の「保育所保育指針」の解説書、厚生労働省ホームページ〔下記 URL〕から閲覧可能）

http://www.ans.co.jp/u/okinawa/cgi-bin/img_News/151-1.pdf

- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説-平成 30 年 3 月』フレーベル館、2018 年（平成 29 年告示の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の解説書、内閣府ホームページ〔下記 URL〕から閲覧可能）

https://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/pdf/youryou_kaisetsu.pdf

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし Web 上で解答してください。

前述の、幼児の発達の様相、発達と環境との関係性、関わり手側の基本的スタンス、等の各視点について、基本的な知識の理解、そしてその知識を用いた判断に関する考察を、穴埋めおよび選択形式の間を用いて課しています。人名や単語はすべて教科書に記載されている表記で解答するようにしましょう。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

基本的に教科書に沿って学習を進めてください。教科書で述べられている大まかなテーマは何かを掴みながら読み進めてください。普段から子どもと接していると、発達という現象があまりに当たり前すぎて改めて「発達って何だろう」と振り返り難い場合も有るでしょう。ですがそこを改めて整理し直すことで、それまでと違った視点で幼児を見ることができるようになります。体験で培った知見に科学的・学術的な視点を重ね合わせるつもりで読んでみてください。なお、発達とは身体面と精神機能の面の両面が重なって生ずる現象です。精神機能つまり心理機能を理解する為にも、基礎学習として発達心理学を学んでみることをお勧めします。

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

〔会場科目修了試験〕

持込みすべて不可・論述式・レポートで学んだ範囲から出題します。

〔Web 科目修了試験〕

持込み可・客観式・レポートで学んだ範囲から出題します。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

幼児の発達の様相、発達と環境との関係性、関わり手側の基本的スタンス、といったテーマについて扱います。教科書内ではこれらの事項が各所に散りばめられています。それを自身でまとめ直すことで試験勉強につながります。また、事柄を記憶することも大切ですし、記憶したことを基に現実的に考えることも大切です。ぜひ「憶えて、使う」という流れを普段から実践してください。